



第14回 特定非営利活動法人

通院介護センター「さわやか」定期総会開催

六月十八日(日)午前十一時十五分から、北九州市総合保健福祉センターアシスト21(小倉北区)の六階会議室で第十四回特定非営利活動法人通院介護センター「さわやか」の定期総会を開催しました。

初めに、司会の岡副理事長が開会宣言を行い、資格審査委員に貞谷事務局長が選任されました。

この二十年を機にさらに一歩進めていきたい

続いて、山田理事長が「昨年の七月には『さわやか』設立二十周年祝賀会を行うことが出来ました。

各病院の腎友会の皆様や病院の先生方、また、行政の方々など八十名以上の方にお祝いをしていただきました。

この二十年を機にさらに一歩進めていきたいと思

平成28年度「さわやか」活動報告

項目	28年度	八幡	小倉
登録ボランティア数	41名	17名	24名
登録車両数 (うち軽自動車数)	37台 (16台)	15台 (6台)	22台 (10台)
登録利用者数	39名	26名	13名
送迎回数	3798回	1990回	1808回

(八幡・小倉事業所合算 平成29年3月31日現在)



北九州市
 障害福祉団体連絡協議会
 北原 守会長

初めに、障団連の中島和子事務局次長から開会宣言がありました。

第20回 北九州市障害福祉団体連絡協議会

六月三日(土)午前十時から、ウエルとばた六階六A B会議室で北九州市障害福祉団体連絡協議会(以下障団連)の第二十回定期総会が行われました。「さわやか」から四名が参加しました。

定期総会開催

たくさんの人と交流を深め

私たちの活動の活性化を

続いて、北原守会長から「障団連は、障害のある人たちが生きていく力を見つけ、住みやすいまちづくりをしていくために障害者団体が結束して頑張ろうという目



「さわやか」定期総会の様子

山田理事長と梶原常務理事が選任されました。

その後、議案審議に入りました。

第一号議案の情勢報告、第二号議案の平成二十八年度活動報告、第三号議案の平成二十八年度収支決算報告、第四号議案の会計監査報告がありました。

第五号議案の平成二十九年度活動方針(案)、第六

業計画及び収支予算(案)が提案され、全ての議案は満場一致をもって承認されました。

第七号議案のその他では、山田理事長が「平成二十九年度の福祉有償運送運転協力者研修について車を持った会員の方やお知り合いの方への声掛けをお願いします」と話しました。

それと今、北九州市が差別解消条例を作ろうとしています。そのことをご存知の方はいらっしゃいますか?との質問にほとんどの方は知らないとのことでした。

最後に「障団連も条例の制定を目指して様々な活動をしてまいります。市の条例が出来た時点で皆様に報告できると思います」と述べました。

続いて「皆さんにお尋ねしますが昨年、障害者差別解消法が施行されたのはご存知でしょうか?

社会的実現に向けた活動を続けておられます。

これからの障団連は、お互いの団体のことを理解しあえる場づくりや関係性の構築のためにたくさんの人たちと交流を深め、私たちの活動を活性化していきたいと思っております」と挨拶がありました。

今後も、障団連の皆様と連携して本市の障害福祉の更なる発展向上に取り組んで参りますので、引き続きご理解とご協力をお願い致します」と読み上げました。

次に、北橋健治北九州市長が公務の都合で総会に出席できなかったために、市長から預かった祝辞を保健福祉部の柴田憲志部長より「北原会長をはじめ、障団連の皆様におかれましては、長年にわたり各団体間の理解と連携を深めながら、障害のある方たちが地域の中で、安心して生活ができる共生

また、来賓の北九州市議会の井上秀作議長と北九州市社会福祉協議会の柏木修会長より祝辞がありました。

その後、障団連第一回研修会に入りました。

(裏面につづく)



発達障害者支援法改正で

スタートさせる節目の一年

第一回北九州市障害福祉団体連絡協議会（障団連） 研修会

（前面よりつづき）

今回の研修会は、北九州市保健福祉局障害福祉企画課の末吉和久課長と障害者支援課発達障害担当の安藤卓雄課長による①「平成二十九年年度障害福祉予算概要について」と②「これからの発達障害児者支援の方向性について」の話がありました。

共生のまちづくりを目的に

「ぬくもりルーム」を開設

末吉課長は「初めに本市では障害者への理解、経済的自立や社会参加の促進を図り、共生のまちづくりを寄与することを目的に、五月十日から本庁舎一階に『ぬくもりルーム』（別枠参照）を開設しましたので是非、お越しくください。

続いて、平成二十四年度から作成していた北九州市



北橋健治
北九州市長

障害者支援計画は、今年度が最終年度にあたります。

この計画は、障害者施策の基本的な理念を定めた『市町村障害者計画』と障害福祉サービス目標を定めた『市町村障害福祉計画』の二つの計画で構成されています。

来年度からは、新たに障害児の支援の提供体制等を定めた『市町村障害児福祉計画』を加えて、（次期）北九州市障害者支援計画として五カ年計画で作成していきます。

皆様にご協力をいただき

ながら、内容について見直してまいります」と話されました。

続いて、安藤課長は「昨年八月に発達障害者支援法が改正されました。

今年度は、発達障害者の支援にとっても新しい法律に基づく取り組みをスタートさせる節目の一年となっています。

発達障害者支援地域協議会の

設置に向けて

本市においても地域のネットワークを進める拠点として是非、発達障害者支援地域協議会の設置に向けて進めていきたいと思っております。また、『北九州市の発達障害支援情報』として、公

式フェイスブックを立ち上げましたので是非、ご覧ください」と話され、研修会は終了しました。

引き続き、総会に入りま

初めに、議長に福岡県脊髄損傷者連合会北九州支部の宮岡健氏が選任され、承認されました。

続いて、障団連の事務局より加盟団体数四十一団体、出席団体数三十一団体委任団体数十団体での総会は成立する旨、報告がありました。

次に、議事録署名人に北九州市自閉症児者の未来を考える会の北田ひさ子氏とNPO法人北九州小規模連の須藤輝勝氏が選任され、承認されました。

その後審議に入り、平成二十八年年度事業報告及び決算報告、会計監査報告がありました。

また、平成二十九年年度事業計画及び収支予算（案）が提案され、満場一致をもって承認され、総会は閉会しました。

休憩をはさんで、交流部主催の会員交流会が行なわれました。

北橋健治北九州市長が会員交流会に駆けつけてくださいました。

共生社会に向けて

今年も前進していく

北橋北九州市長は「北原会長を先頭に共生社会を創るためにご尽力いただき、大変感謝しています。

是非とも共生社会に向けて、今年度も前進できますように私達も努力して参りますのでご協力の程、よろしくお願ひします」と挨拶があり、会員交流会にも参加されました。

その後、お弁当を食べながら、各団体の代表者に団体紹介と現在取り組んでいること、団体の抱えている課題などを二分間スピーチの形で話していただき、会員交流会は午後一時三十分

障害者アート常設作品展 かがやきアートギャラリー開設

北九州市役所に新しいアートの空間が生まれる

「ぬくもりルーム」では、

①障害のある方のアート作品を常設展示する「かがやきアートギャラリー」

②障害者就労施設への業務発注などの相談窓口「北九州共同受注センター」

③障害者就労施設で製作された製品をPRする「障害者就労施設製品PR」の三つのブースで構成されています。

その中から、『かがやきアートギャラリー』を紹介いたします。

『かがやきアートギャラリー』とは、障害のある人たちの描く創造的でかつ刺激を与える作品の素晴らしさを障害者アート専門の常設展示場において多くの市民の皆さんに知っていただくことを目的に実施しています。



かがやきアート
ギャラリーの様子

そして同時に、アートを通じて障害のある人たちの可能性についても市民の皆様への理解を深め、「共生のまちづくり」を促進します。

ギャラリーでは毎月、月替わりで絵画や書道、写真などの障害のある方の作品展示を行います。